

記者会見
4.2.21
資料 1

令和4年度（2022年度）当初予算案の概要

未来に向けて、「ふるさと秦野」を飛躍発展させる予算

I	市政に臨む基本の方針	p. 1
II	各会計の予算規模	p. 2
III	一般会計	p. 3
IV	企業会計及び特別会計	p. 7
V	令和4年度の主な事業	p. 8



「水とみどりに育まれ 誰もが輝く 暮らしよい都市（まち）」

秦野市

I 市政に臨む基本的方針

新型感染症対策は、引き続き最優先に取り組むべき課題です。スピード感を持って進めてきたワクチン接種の効果もあり、かつての日常を取り戻しつつありましたが、新変異株の流行により、第6波と言われる感染の急拡大が続き、今もなお、予断を許さない状況が続いています。

市民の命と暮らしを守り抜くため、3回目のワクチン接種を円滑に実施するとともに、希望と活力が市内の隅々までいきわたるよう、先を見据えた息の長い地域経済対策を講じ、オール秦野でこの難局を乗り越えていきたいと思います。

昨年4月、新たな都市像「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市（まち）」の実現を目指し、多くの市民の思いや願いが詰まった「総合計画はだの2030プラン」をスタートさせました。

しっかりと秦野の未来を見定め、事業の選択と集中を図りながら、持続可能な行財政運営に努め、確実に総合計画を進めていきます。

いよいよ、来月には新東名高速道路の秦野丹沢スマートインターチェンジの供用開始と同時に、新秦野インターチェンジまでが開通し、秦野の“新時代”が幕を開けます。この好機に、市域北側の「表丹沢魅力づくり」と南側の「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」を一体的に進め、本市を全国屈指の森林観光都市へと押し上げていきます。

“新時代”で活躍する子どもたちに「誰もが住みたい・住み続けたいふるさと秦野」を引き継いでいくため、これまで以上に市民一人ひとりの思いを大切に、共に歩みながら市政運営に取り組んでいきます。

《令和4年度 主な事業の項目一覧》

新型感染症対策「感染の拡大防止」と「社会経済活動」の両立 (P8)

“住んでみよう・住み続けよう” 秦野みらいづくりプロジェクト

- (1) 健康で安心して暮らせるプロジェクト (P9)
- (2) 未来を拓く子育て・教育プロジェクト (P12)
- (3) 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト (P15)
- (4) 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト (P17)
- (5) 新たな日常創造プロジェクト (P19)
- (6) 横断プロジェクト：移住・定住活性化プロジェクト (P20)

総合計画前期基本計画に掲げた基本目標に沿った主な事業

- (1) 誰もが健康で支えあうまちづくり (P21)
- (2) 生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり (P22)
- (3) 名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくり (P24)
- (4) 住みたくなる訪れたくなるのにぎわい・活力あるまちづくり (P26)
- (5) 市民と行政が共に力を合わせて創るまちづくり (P26)

Ⅱ 各会計の予算規模

一般会計、全会計の合計ともに過去最大

〔過去最大 一般会計：令和 2 年度 524 億 3000 万円〕
 全会計：平成 29 年度 956 億 9700 万円〕

会 計 名	令和 4 年度 当初予算額	令和 3 年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
①一般会計	528 億 7000 万円	524 億 3000 万円	4 億 4000 万円	0.8
【企業会計】 ②水道事業会計	37 億 4900 万円	32 億 3000 万円	5 億 1900 万円	16.1
【企業会計】 ③公共下水道事業会計	57 億 700 万円	52 億 4700 万円	4 億 6000 万円	8.8
④国民健康保険事業 特別会計	173 億 2700 万円	170 億 2000 万円	3 億 700 万円	1.8
⑤介護保険事業 特別会計	136 億 400 万円	129 億 300 万円	7 億 100 万円	5.4
⑥後期高齢者医療事業 特別会計	26 億 8600 万円	25 億 4600 万円	1 億 4000 万円	5.5
合 計	959 億 4300 万円	933 億 7600 万円	25 億 6700 万円	2.7
企業会計合計 (②、③)	94 億 5600 万円	84 億 7700 万円	9 億 7900 万円	11.5
特別会計合計 (④～⑥)	336 億 1700 万円	324 億 6900 万円	11 億 4800 万円	3.5

【過去 5 年の予算規模】

区 分	一般会計	企業会計	特別会計	合計
令和 3 年度	524 億 3000 万円	84 億 7700 万円	324 億 6900 万円	933 億 7600 万円
令和 2 年度	507 億 3000 万円	91 億 3600 万円	324 億 4900 万円	923 億 1500 万円
令和元年度	506 億 1000 万円	97 億 4700 万円	326 億 8000 万円	930 億 3700 万円
平成 30 年度	490 億 8000 万円	92 億 4400 万円	318 億 4500 万円	901 億 6900 万円
平成 29 年度	516 億 4000 万円	90 億 7700 万円	349 億 8000 万円	956 億 9700 万円

Ⅲ 一般会計

1 予算規模

令和4年度は、「未来に向けて、ふるさと秦野を飛躍発展させる予算」とし、一般会計の当初予算額は、令和3年度当初予算に比べて4億4,000万円増の528億7,000万円とし、過去最大の規模となりました。

2 歳入

(1) 市税

市税全体では、令和3年度当初予算に比べて、7億円増の221億円となりました。

増額要因として、令和3年度は、個人、法人市民税が新型コロナウイルスの影響を大きく受けると見込み、△15億1千万円の減収としたものの、そこまでの影響は見られず、上振れしたことから、前年度に比べて、個人市民税は5億5,880万円の増、また、法人市民税は、7,210万円の増としました。また、市たばこ税についても、健康志向の高まりや分煙化による喫煙機会の減少など、売上本数の減少が続いているものの、令和3年10月の税率引上げに伴い、5,100万円の増を見込んでいます。

一方で、固定資産税と都市計画税については、新築家屋が一定数見込めるものの、土地評価額の下落が続くことから、それぞれ、△690万円、△1,480万円の減を見込みました。

【市税の状況】

区 分	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
個人市民税	89億1120万円	83億5240万円	5億5880万円	6.7
法人市民税	8億3290万円	7億6080万円	7210万円	9.5
固定資産税	94億3370万円	94億4060万円	△690万円	△0.1
市たばこ税	10億200万円	9億5100万円	5100万円	5.4
都市計画税	15億5860万円	15億7340万円	△1480万円	△0.9
そ の 他	3億6160万円	3億2180万円	3980万円	12.4
合 計	221億円	214億円	7億円	3.3

(注) 予算額は、現年課税分と滞納繰越分の合算額です。

【過去5年の市税予算額】

年度	当初予算額	前年度との比較	増減率 (%)
令和3年度	214億円	△15億1000万円	△6.6
令和2年度	229億1000万円	△1億9000万円	△0.8
令和元年度	231億円	3億8000万円	1.7
平成30年度	227億2000万円	△3億円	△1.3
平成29年度	230億2000万円	△2億円	△0.9
平成20年度	258億2900万円	(過去最大予算)	

(2) 市税以外

税収不足を補てんする普通交付税と、その代替財源である臨時財政対策債は、それぞれ、42億4,000万円(前年度比18.4%増)、14億1,000万円(同△42.9%減)で、合計で56億5,000万円(同△6.6%減)を見込みました。

臨時財政対策債を含めた市債発行額は、27億5,700万円(同△24.7%減)とし、市債のプライマリーバランスは黒字となりました。

財政調整基金については、4億4,000万円(同△62.5%減)を活用し、収支の均衡を図りました。

【市税以外の状況】

区 分	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
普通交付税	42億4000万円	35億8000万円	6億6000万円	18.4
市債発行額	27億5700万円	36億6120万円	△9億420万円	△24.7
うち臨時財政対策債	14億1000万円	24億7000万円	△10億6000万円	△42.9
財政調整基金取崩し額	4億4000万円	11億7180万円	△7億3180万円	△62.5

【市債及び財政調整基金の残高見込み】

区 分	令和4年度末 残高見込み	令和3年度末 残高見込み	増 減	増減率 (%)
市 債	354億6439万円	360億8299万円	△6億1860万円	△1.7
うち臨時財政対策債	233億2126万円	238億8483万円	△5億6357万円	△2.4
財政調整基金	30億3863万円	34億7680万円	△4億3817万円	△12.6

3 歳出

義務的経費のうち、人件費は、退職者数の減のほか、カルチャーパークなど指定管理者への移行に伴う会計年度任用職員の減により、減額します。一方、障害児・者へのサービス体制の充実や、近年のプライマリーバランスの赤字により、扶助費、公債費がそれぞれ増額となりました。

また、投資的経費（普通建設事業費）は、東海大学前駅北口エレベーター・エスカレーターの設置や西中学校体育館等施設整備など、複数年をかけて取り組んだ大型の建設事業が完成を迎えたため、前年度当初予算に比べ、△12.2パーセントの減となりました。

新年度は、通学路の安全対策や、伊勢原市との共同消防指令センターの整備など、安全・安心なまちづくりを進める施策に重点的に配分しました。主な普通建設事業費は、次のとおりです。

(1) 通学路の安全対策の推進	2億2,997万円
(2) 共同消防指令センターの整備	1億9,044万円
(3) カルチャーパーク陸上競技場の改修	1億5,165万円

【款別経費比較表】

款	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
1 議会費	3億4775万9000円	3億3460万9000円	1315万円	3.9
2 総務費	53億690万1000円	52億5680万6000円	5009万5000円	1.0
3 民生費	245億7657万2000円	245億5249万7000円	2407万5000円	0.1
4 衛生費	50億2443万3000円	50億6481万1000円	△4037万8000円	△0.8
5 農林費	6億37万9000円	5億10万2000円	1億27万7000円	20.1
6 商工費	10億378万3000円	10億6404万1000円	△6025万8000円	△5.7
7 土木費	60億389万7000円	62億3101万円	△2億2711万3000円	△3.6
8 消防費	23億402万1000円	21億1698万3000円	1億8703万8000円	8.8
9 教育費	41億3651万9000円	37億4701万7000円	3億8950万2000円	10.4
10 公債費	34億6573万6000円	34億6212万4000円	361万2000円	0.1
11 予備費	1億円	1億円	0円	0.0
合 計	528億7000万円	524億3000万円	4億4000万円	0.8

【性質別経費比較表】

区 分		令和4年度当初予算額 (構成比)	令和3年度当初予算額 (構成比)	増 減 (増減率)
義務的経費	人件費	100億2537万円 (19.0%)	100億6210万6000円 (19.2%)	△3673万6000円 (△0.4%)
	扶助費	155億9907万2000円 (29.5%)	152億7101万9000円 (29.1%)	3億2805万3000円 (2.1%)
	公債費	34億6573万6000円 (6.5%)	34億6212万4000円 (6.6%)	361万2000円 (0.1%)
	計	290億9017万8000円 (55.0%)	287億9524万9000円 (54.9%)	2億9492万9000円 (1.0%)
投資的 経費	普通建設 事業費	34億7675万8000円 (6.6%)	39億6150万6000円 (7.6%)	△4億8474万8000円 (△12.2%)
その他の経費	物件費	87億2672万7000円 (16.5%)	79億8416万7000円 (15.2%)	7億4256万円 (9.3%)
	維持補修費	3億8148万4000円 (0.7%)	3億4827万8000円 (0.7%)	3320万6000円 (9.5%)
	補助費等	46億5455万7000円 (8.8%)	45億4095万1000円 (8.7%)	1億1360万6000円 (2.5%)
	積立金	4億6672万2000円 (0.9%)	4億7112万8000円 (0.9%)	△440万6000円 (△0.9%)
	貸付金	3億2992万9000円 (0.6%)	3億3000万円 (0.6%)	△7万1000円 (△0.0%)
	繰出金	56億4364万5000円 (10.7%)	58億9872万1000円 (11.2%)	△2億5507万6000円 (△4.3%)
	予備費	1億円 (0.2%)	1億円 (0.2%)	0円 (0.0%)
	計	203億306万4000円 (38.4%)	196億7324万5000円 (37.5%)	6億2981万9000円 (3.2%)
合 計		528億7000万円 (100.0%)	524億3000万円 (100.0%)	4億4000万円 (0.8%)

IV 企業会計及び特別会計

1 企業会計

(1) 水道事業会計

水道事業収益は、新型コロナウイルスの影響による厳しい状況が徐々に緩和されつつあることなどから、増額を見込んでいます。支出面においても、今年度新たにスタートした水道事業計画に基づき、水道施設の更新と耐震化を着実に進めていく必要があることから増額となり、予算規模は、令和3年度当初予算に比べて16.1パーセントの増となりました。

(2) 公共下水道事業会計

下水道事業収益は、水道事業会計同様に増額を見込んでいます。支出面においても、今年度新たにスタートした公共下水道事業計画に基づき、下水道施設の計画的な耐震化及び雨水の浸水対策を着実に進めていく必要があることから増額となり、予算規模は、令和3年度当初予算に比べて8.8パーセントの増となりました。

2 特別会計

(1) 国民健康保険事業特別会計

高齢化の進行や医療の高度化等により1人当たりの保険給付費の増加が見込まれるため、予算額は、令和3年度当初予算に比べて1.8%の増額となりました。

また、被保険者数が減少する一方で、保険給付費の増加などによる財源不足が見込まれるため、国民健康保険税の税率を引き上げます。

(2) 介護保険事業特別会計

要介護認定者数及びサービス利用者数の増加により、保険給付費が増加することから、予算額は、令和3年度当初予算に比べて5.4%の増額となりました。

(3) 後期高齢者医療事業特別会計

被保険者数の増加に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金が増額となるため、予算額は、令和3年度当初予算に比べて5.5%の増額となりました。

V 令和4年度の主な事業（◎は新規又は、拡充する取組）

新型コロナウイルス対策「感染の拡大防止」と「社会経済活動」の両立

（新型コロナウイルスワクチン接種推進課、地域安全課、こども家庭支援課、産業振興課）
事業費 8億1,503万円

新型コロナウイルスから市民の生命と健康を守るため、ワクチン接種を安全かつ迅速に実施します。また、自宅療養者等の生活支援を行うとともに、インフルエンザとの同時流行を防ぐため、小児と妊婦の予防接種費用を支援します。さらに、日々の暮らしや地域経済を守るため、中小企業者への利子補給や企業の強みを動画などで発信できる特設サイトの開設、商業分野のデジタル化を推進します。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
新型コロナウイルス ワクチン接種の推進 675,158	675,158				
自宅療養者等へ食料 などの生活支援 2,607					2,607
小児等のインフルエ ンザ予防接種の支援 24,583					24,583
中小企業者への利子 補給 68,790			新型コロナウイルス感染症 対策利子補給基金繰入金	34,348	34,442
特設サイト・バー チャル工場見学の開 設など ◎8,540					8,540
商店街店舗等デジタ ルガイドブックの作 成と電子地域通貨導 入の検討 ◎9,644	3,560				6,084
商店街店舗改修等へ の支援など 19,387					19,387
ウェブサイトによる 情報発信など 6,318					6,318
計 815,027	678,718			34,348	101,961

“住んでみよう・住み続けよう”

秦野みらいづくりプロジェクト「5つの誓い2022」

(1) 健康で安心して暮らせるプロジェクト

秦野らしい豊かな自然環境の中で、誰もが健康で生き生きと活躍し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

ア 水とみどりを育む取組みの推進

財産管理課、森林ふれあい課、教育総務課、
環境共生課、環境資源対策課 ほか

事業費 4億7,326万円

債務負担行為 2億9,868万円

「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、2030年度の二酸化炭素排出量を2013年度比で46パーセント削減することを目標とする「地球温暖化対策実行計画」に基づく施策を推進します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
庁舎への再生可能エネルギー由来電力等の導入 ◎27,549					27,549
電気自動車とハイブリッド自動車の導入 ◎1,140					1,140
森林里山整備による二酸化炭素の吸収、固定化の促進 13,694		13,126		水道事業会計繰入金 445	123
小・中学校全校の照明をLED化 ◎債務負担行為	【小学校 152,150 千円、中学校 146,530 千円】				
「COOL CHOISE」の周知や資源分別の徹底など 430,877				分別回収資源売却代等 115,721	315,156
計 473,260		13,126		116,166	343,968

イ 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進

高齢介護課、国保年金課、健康づくり課、スポーツ推進課
事業費 1, 149万円

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組みの推進やウォーキングやボルダリングなど、一人で気軽にできる生涯スポーツの普及促進を図るとともに、パラスポーツを通じた多様性を尊重する共生社会の推進に取り組みます。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
低栄養防止の支援や糖尿病性腎症重症化の予防 5,299				広域連合受託事業収入 2,705	2,594
生涯スポーツの普及促進 6,188				toto助成金 2,996	3,192
計 11,487				5,701	5,786

ウ 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進

地域共生推進課、高齢介護、障害福祉課、生活援護課
事業費 1億6,682万円

高齢者、障害者、生活困窮者への支援を充実し、誰もが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりを進めます。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
地域共生支援センターの運営 10,692	6,094				4,598
生涯現役促進地域連携推進協議会への支援 19,929				元金収入 19,929	
障害者の相談支援や緊急時受入れの整備 ◎24,245	3,272	1,636			19,337
生活困窮者等への支援の充実 111,953	94,285				17,668
計 166,819	103,651	1,636		19,929	41,603

エ 災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進

防災課、建設管理課、道路整備課、学校教育課、地域安全課
事業費 4億899万円

市民の迅速で的確な避難行動につなげる取組みにより誰一人取り残さない体制の構築を進めるとともに、激甚化、頻発化する自然災害を教訓として、河川水路の適切な維持管理を図ります。また、犯罪に遭われた方やその家族が安心して日常生活を取り戻せるよう支援します。

通学路の安全対策としては、専門的見地からの意見を反映するため、学識経験者等で構成する安全対策推進組織を設置し、危険個所に応じた対策を計画的かつ着実に推進します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
避難所や被害情報の全体を把握できる災害情報システムの導入や災害情報伝達手段の強化 ◎31,034	3,306	2,015			25,713
室川の護岸整備と堀水路などの河川水路の適正な維持管理 145,464			13,500		131,964
犯罪被害者等への支援 ◎1,778					1,778
安全対策推進組織の設置やグリーンベルトの整備、啓発用路面シールの設置など通学路安全対策の推進 ◎230,717	92,091		97,100	ふるさと基金繰入金 446	41,080
計 408,993	95,397	2,015	110,600	446	200,535

(2) 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

結婚・妊娠・出産・育児への切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境を整備するとともに、教育水準の改善・向上や中学校給食の完全実施を中心とした取組みにより、秦野の未来を担う子どもたちの生きる力を育む教育環境づくりに取り組みます。

ア 安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進

健康づくり課、こども家庭支援課
事業費 1,031万円

秦野赤十字病院の分娩再開をはじめ、女性や子どもが住みやすいまちを目指します。また、産後ケア事業を一人でも多く利用できるよう拡充します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
「はだの女性と子どもの活躍支援アドバイザー」の設置 ◎1,200					1,200
産後ケア事業の委託を拡充 ◎9,114	4,557				4,557
計 10,314	4,557				5,757

イ 秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進

総合政策課、子育て総務課
事業費 749万円

結婚を希望する市民への支援のほか、支援を必要とするひとり親家庭に向けた、オンライン相談の開始や毎月第2土曜日の開庁日にも相談窓口を開設するなど、相談体制の強化を図ります。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
結婚支援のためのセミナーの開催 ◎489					489
ひとり親家庭に向けた、相談体制の強化 ◎7,005	595				6,410
計 7,494	595				6,899

ウ 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進

〔教育指導課、教育研究所、教職員課〕
事業費 1億2,061万円〕

国の「地方教育アドバイザー」制度を活用し、「学びの基盤プロジェクト」を展開するなど、学力の定着・向上を図ります。また、インクルーシブ教育を推進するための支援体制を充実するとともに、教育分野におけるDX（デジタル・トランス・フォーメーション）を推進していきます。

（単位：千円）

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
学力向上を図るため 教育支援アドバイザーの 招聘や民間事業者の活用 ◎10,702				早寝早起き 朝ごはん推進校事業費 補助金 997	9,705
寺子屋方式による学 習支援の拡充 ◎1,876		1,250			626
インクルーシブ教育 を推進するための特 別支援教育コーディネ ーターの配置 ◎5,378					5,378
特別支援学級等の児 童・生徒の学習など を補助する介助員の 配置を拡充 ◎64,543					64,543
オンライン教材や AI教材、プログラ ミング教材を活用し た教育DXの推進 ◎27,705	13,853				13,852
スクールサポートス タッフの継続配置な どによる働き方改革 の推進 10,404					10,404
計 120,608	13,853	1,250		997	104,508

エ 市民総ぐるみによる学校給食の推進

〔
学校教育課、農業振興課
〕
事業費 10億3,322万円

秦野市農業協同組合や企業、関係機関と連携し、「はだのっ子キッチン」の機能を生かした食育や地産地消の取組みを推進します。また、本年4月から小学校給食費の徴収管理業務を公会計制度に移行し、保護者の利便性の向上と合わせて教職員の負担軽減を図ります。さらに、小学校給食室の環境を整備するため、計画的な改修、更新を行います。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
「はだのっ子キッチンの安定運営」と中学校給食の食材購入 549,324				中学校給食費 250,060	299,264
中学校給食の地産地消を推進するため、秦野市農業協同組合による、食材調達用コンテナ整備を支援 ◎1,660					1,660
小学校給食費の徴収管理業務を公会計制度に移行 ◎398,439				小学校給食費 398,439	
小学校給食設備の計画的な更新と適切な維持管理 83,799		144	18,000	ふるさと基金繰入金 24,641	41,014
計 1,033,222		144	18,000	673,140	341,938

(3) 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

「温泉」、「大学」、「まちの中心地、文化歴史」、「表丹沢」など、小田急線4駅それぞれの魅力ある地域資源や特色を生かした、楽しい「まち歩き」の仕掛けづくりなどにより、活力あふれるのにぎわい創造に取り組みます。

ア 4駅周辺のにぎわい創造の推進

〔はだの魅力づくり推進課、産業振興課〕
事業費 5,693万円

商業地の土地活用を奨励し、企業等の立地及び施設再整備を推進することにより、商業施設とともに、人の流れを生み出す集客施設や人をまちに呼び込む事業所等を誘導し、生活と産業が調和した活力あるまちの実現に取り組みます。また、駅周辺市街地を利用する住民、商業者、企業、関連事業者等と一体となり、のにぎわい創造に取り組む機運の醸成と体制の構築を進めます。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
にぎわい創造に向けた中心市街地活性化計画の策定 ◎21,581	10,000	5,556			6,025
商店街店舗等デジタルガイドブックの作成と電子地域通貨導入の検討【再掲】 ◎9,644	3,560				6,084
商店街店舗改修等への支援【再掲】 10,472					10,472
はだのにぎわいウェブサイトによる情報発信など【再掲】 6,318					6,318
空き店舗の活用による商店街の活性化【再掲】 8,915					8,915
計 56,930	13,560	5,556			37,814

イ 4 駅それぞれの地域特性を生かしたにぎわい創造の推進

観光振興課、道路整備課、生涯学習課、環境共生課、
まちづくり計画課、広報広聴課、文化振興課

事業費 1億429万円

組織横断的な連携を図り、ハード、ソフトの両面から、文化財や自然環境など、4 駅それぞれの地域特性を生かした、にぎわいの創造を進めます。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
秋限定としていた大山と鶴巻温泉を結ぶバスの運行を春のシーズンにも拡充 ◎5,231		1,450			3,781
東海大学前駅につながる市道 9 号線の歩道設置による利便性の向上 82,120	31,900	35,400			14,820
本町四ツ角周辺の国登録文化財や秦野名水、彫刻を生かしたまち歩きの充実 7,583				水道事業会計繰入金等 4,011	3,572
県道 705 号整備事業の促進と支援 500					500
震生湖の豊かな自然環境の保全 679					679
遊休農地の活用による花を背景とした自然環境の創出や桜のライトアップによる誘客促進 6,000					6,000
商店街と連携した、市内低山を中心としたハイキングコースをめぐるスタンプラリーの開催 2,180					2,180
計 104,293	31,900	36,850		4,011	31,532

(4) 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

新東名高速道路の開通を本市発展の絶好の機会と捉え、産業・観光振興の両面から最大活用を図るとともに、国道246号バイパスの早期全線事業化・整備の促進に取り組みます。

ア 表丹沢魅力づくり構想の推進

はだの魅力づくり推進課、観光振興課、農業振興課、
森林ふれあい課、道路整備課、環境共生課 ほか
事業費 2億201万円

「表丹沢ツーリズム（仮称）」の事業化に向けて、事業計画の策定や推進体制の検討に取り組みます。モニターツアーなどを実施し、「都心から近い山岳・里山アクティビティの聖地」としてのブランド化を推進します。また、表丹沢周辺に位置する、各拠点施設を生かした魅力づくりにも取り組みます。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
表丹沢ファン獲得を目指したホームページの開設など 25,611	6,490				19,121
ヤビツ峠レストハウスの維持管理 8,000		4,000			4,000
田原ふるさと公園に直売所スペース等を整備 ◎20,000		10,289		東財産区 繰入金 4,433	5,278
羽根スポーツ広場（仮称）の土地利用構想の策定 ◎25,400		13,067			12,333
大倉高原の活用の検討や環境整備 838					838
各拠点を結ぶ市道の再整備 106,479			81,000		25,479
緑水庵周辺の環境整備など ◎15,684		2,013		みどり基金 繰入金等 1,577	12,094
計 202,012	6,490	29,369	81,000	6,010	79,143

イ 地域特性を生かした企業誘致の推進

〔都市整備課、まちづくり計画課、産業振興課〕
事業費 324万円

戸川地区における土地区画整理事業の事業化を目指し、産業拠点の整備を推進します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
組合による土地区画整理事業の実現に向けた支援 753					753
産業利用促進ゾーン(戸川地区)の市街化区域編入に向けた手続の支援 2,228					2,228
企業誘致活動の推進 262					262
計 3,243					3,243

ウ 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進

〔道路整備課〕
事業費 1億919万円

秦野丹沢スマートインターチェンジから市街地へのアクセス性を高める新たな都市計画道路と、それに並行する矢坪沢の整備に向けた取組みを進めます。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
都市計画道路「戸川堀山下線(仮称)」と矢坪沢の測量や設計など 109,191			87,100		22,091

(5) 新たな日常創造プロジェクト

新型コロナウイルスの収束を見据え、市民の「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る3つの柱を守る対策を充実させるとともに、スマート自治体への転換やデジタル化を推進し、新たな日常の創造に取り組みます。

ア デジタル化の推進

情報システム課、戸籍住民課、広報広聴課、
図書館、保育こども園課 ほか

事業費 2億1,090万円

市民が、いつでも、どこでも行政手続を行えるとともに、必要な情報を取得できる環境を整えます。また、マイナンバーカードの普及促進を図ります。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
各種手続のオンライン化の推進 840					840
住民異動届等のスマート窓口の利用促進 2,508				手数料 2,508	
マイナンバーカードの普及促進 61,147	60,320				827
GISによる地図情報の公開に向けた準備 ◎6,797					6,797
デジタル版「広報はだの」の発行など ◎9,034				ホームページ広告代 864	8,170
公共施設のWi-Fi環境の整備・拡充 ◎576					576
電子書籍貸出サービスの導入 ◎1,731					1,731
公立こども園や子育て支援にICTを活用 ◎13,308	4,460				8,848
RPAの導入やテレワークの推進など 114,956	3,306	1,086		後期連合受託事業収入等 22,305	88,259
計 210,897	68,086	1,086		25,677	116,048

(6) 横断プロジェクト：移住・定住活性化プロジェクト※

「5つの誓い2022」の取組みを推進することで、魅力あふれる「ふるさと秦野」を創出します。そして、「住みたい」、「働きたい」、「何度でも行ってみたい」につながる「移住・定住活性化プロジェクト」を進めることで、「関係人口」を創出・拡大させ、地域経済の活性化を図るとともに、移住・定住人口の増加につなげます。

ア 移住・定住人口の増加につなげる取組みの推進

交通住宅課、農業振興課、建設管理課、公園課
事業費 1億3,273万円

コロナ禍による地方分散の流れを捉え、移住相談窓口の設置や若者世代等の住宅購入費の一部を補助する「はだの丹沢ライフ応援事業」などの取組みを進め、市内外の人々の本市への移住定住につなげていきます。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
移住相談窓口の設置 や「はだの丹沢ライフ 応援事業」の創設 ◎85,147					85,147
移住お試し住宅の継 続実施 2,884				お試し住宅 体験料 480	2,404
空家活用促進の補助 制度を創設 ◎7,000					7,000
さと地共生住宅開発 許可制度の利用促進 610					610
「秦野産ジビエ」の 普及促進 390					390
桜並木の健全育成に よるまちの魅力向上 36,697				ふるさと 基金繰入金 36,697	
計 132,728				37,177	95,551

※横断プロジェクト：本市に多くの人を呼び込むことが期待される「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」と「新東名・246バイパスの最大活用」の両プロジェクトを一体的に進めるプロジェクト

総合計画前期基本計画「基本目標」に掲げた施策

目標 1 誰もが健康で支えあうまちづくり

【健康・福祉・子育て】

ア 「健康はだの21」と「はだの自殺対策計画」の改定 健康づくり課

事業費 419万円

令和5年度を計画期限とする「健康はだの21」と「はだの自殺対策計画」について、新型コロナウイルスの影響で運動不足による生活習慣病などを抱える人の増加が懸念されることから、市民意識調査を行い、令和6年度の改定に向け検討を行うなど、実効性のある計画の策定を進めます。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
審議会の開催や市民意識調査アンケートの実施 ◎4,192		536		人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金 1,520	2,136

イ 保育所等の利用環境の向上

保育こども園課

事業費 1,296万円

民間保育所等（2園）が実施する空調設備の改修を支援するとともに、公立認定こども園（5園）に防犯カメラを増設するなど、保育所等の利用環境の向上と安全対策の強化を図ります。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
民間保育所等の空調設備改修を支援 ◎12,037	2,250	5,775			4,012
公立認定こども園に防犯カメラを増設 ◎924					924
計 12,961	2,250	5,775			4,936

目標 2 生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり **【教育・文化・スポーツ】**

ア 教育基盤の整備による学習環境の改善 **教育総務課**

事業費 1億373万円

うち補正予算3,400万円

渋沢中学校急傾斜面地の安全対策の検討や、広畑小学校グラウンドの改修工事と本町小学校の屋上防水工事のほか、小・中学校の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼るなど、学校の安全対策と学習環境の改善を行います。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
渋沢中学校急傾斜面の安全対策の検討 14,393					14,393
広畑小学校グラウンド改修工事（補正予算）と本町小学校屋上防水工事の実施 65,136	11,446	5,108	42,400		6,182
小・中学校の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付 ◎24,201					24,201
計 103,730	11,446	5,108	42,400		44,776

イ クアーズテック秦野カルチャーホールに指定管理者制度を導入 文化振興課

事業費 2億670万円

クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）の運営を指定管理者に移行し、サービスの向上と経費の節減を図るとともに、質の高い文化芸術に触れる機会を提供するほか、特定天井の改修に向けた設計に着手します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
指定管理者によるクアーズテック秦野カルチャーホールの管理運営と特定天井の改修の設計 ◎206,703	11,880			20,000	174,823

ウ 「ねんりんピック」の開催

スポーツ推進課

事業費 2,902万円

令和4年11月12日からの4日間、「全国健康福祉祭・ねんりんピックかながわ 2022 秦野市交流大会」として、「弓道競技」と「軟式野球」が本市で開催されます。全国から訪れる選手・関係者等をおもてなしするとともに、誰もが気軽に参加できるイベントとします。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
「ねんりんピックかながわ 2022 秦野市交流大会」の開催 ◎29,017					29,017

エ 3種公認継続に向けた陸上競技場の改修

公園課

事業費 1億5,165万円

カルチャーパーク陸上競技場について、日本陸上競技連盟の第3種公認の継続取得に向けて、改修工事を実施します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
カルチャーパーク陸上競技場の改修 ◎151,650				ふるさと基金繰入金 151,650	

目標 3 名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくり

【環境・農林業・安全・安心・上下水道】

ア クリーンセンター1施設体制に向けた、更なるごみの減量 環境資源対策課

事業費 4億3,934万円

ごみ分別アプリの普及やストックハウスの活用を促進し、分別の徹底を図ります。また、生ごみ処理機の購入補助金を増額するなど、生ごみの減量を推進します。令和6年度からの、「はだのクリーンセンター」1施設での焼却体制への移行に向け、更なるごみ減量の推進を図ります。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
資源物の分別による可燃ごみの減量 【再掲】 429,806				110,353	319,453
生ごみ処理機購入補助金の増額など生ごみ減量の推進 ◎9,538					9,538
計 439,344				110,353	328,991

イ 地域と一体となった鳥獣対策の推進

農業振興課

事業費 1,631万円

安心して営農できる環境づくりのため、農業者、関係団体と市が一体となって、広域鳥獣防護柵を改修するなど、環境整備、防除、捕獲を組み合わせた地域ぐるみの鳥獣被害対策を実施します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
地域ぐるみの鳥獣対策を実施 ◎16,313		2,879			13,434

ウ 救急・消防車両の更新

警防課、消防管理課

事業費 9, 120万円

複雑・多様化する各種災害に迅速かつ的確に対応するため、資機材搬送車1台と高規格救急自動車2台を更新します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
資機材搬送車の購入 20,519			19,100		1,419
高規格救急自動車の購入 70,685	15,081	9,836	41,200		4,568
計 91,204	15,081	9,836	60,300		5,987

エ 共同消防指令センターの整備

消防総務課、情報指令課

事業費 1億9,054万円

消防業務の効率的な運用のため、令和7年度からの、伊勢原市との消防通信事務の共同運用に向け、消防指令センターの建設及び消防指令システムの整備に着手します。

〔共同消防指令センター 令和4年度～令和5年度 約 3億5,140万円〕
〔消防指令システム 令和4年度～令和6年度 約 1億7,250万円〕
(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
共同消防指令センターの整備 ◎190,542		12,201	86,000	伊勢原市負担金 84,272	8,069

目標 4 住みたくなる訪れたくなるにぎわい・活力あるまちづくり
【にぎわい・活力】

ア 公共交通の維持のための支援 **交通住宅課**

事業費 2, 239万円

新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している乗合タクシー等の運行を支援します。また、令和6年度からの「地域公共交通計画」の策定に着手します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
乗合タクシーへの支援や地域公共交通計画の策定など ◎22,394	4,775				17,619

イ 空家の適正管理の推進 **交通住宅課**

事業費 540万円

空家の適正な管理を推進するため、補助制度を創設します。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
空家の保全に対する補助制度の創設 ◎5,400					5,400

目標 5 市民と行政が共に力を合わせて創るまちづくり
【市民と行政のパートナーシップ】

ア シティプロモーションの推進 **広報広聴課**

事業費 2, 286千円

SNSなどの情報媒体を用いて、本市の魅力を幅広い世代に向けて、発信することで、市民の郷土に対する誇りと愛着を深めます。

(単位：千円)

	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
SNSを活用したシティプロモーションの推進など ◎22,860				ホームページ 広告代 864	21,996